



隊友会市川支部だより

Vol. 52 平成30年 11 月号



発行 隊友会市川支部

編集 支部長 金井泉寿

senjusenju1974@gmail.com

【松戸駐屯地創立 66 周年記念行事】

9月29日に開催された行事に金井支部長が参加をしました。松戸駐屯地は昭和27年7月に開設以来創立66周年を迎え、協力会は56周年を迎えました。

式典は需品学校長兼松戸駐屯地司令上田和幹将補が執行者で記念式典、ついで訓練展示、祝賀会と実施されました。訓練展示の前にグラウンドで松戸4中吹奏楽部の演奏があり観客を楽しませてくれました。

来賓には松戸自衛隊協力会長渡辺博道議員、佐藤正久外務副大臣始め歴代学校長兼司令、歴代支処長等多くの方が出席されました。



記念式典参加部隊



挨拶する上田将補



重機関銃の射撃

戦闘状況下での給油支援



【護国神社清掃奉仕】

10月7日千葉県護国神社制す奉仕に相田哲彦会員、山口会員が参加しました。

早朝から郷友連盟からも含め多くの方が奉仕されました。

【与那国島旅行記】

9月下旬3泊4日の日程で日本最西端の地「与那国島」を訪ねました。



与那国島は海岸線長約27kmと自転車で2～3時間あれば1周してしまいうくらいの島です。台湾までの距離は約111km

しかなく晴天に恵まれた滞在中早朝に薄っすらと台湾の山々を望むことができました。この島が有名になったのは

ドラマ「Drコトー診療所」のロケ地であったことや海底遺跡で知られる与那国島海底地形があり冬場にはハンマーヘッドシャークが見られるダイビングの名所であることですが、最近では2016年に沿岸警備の任務にあたる陸上自衛隊与那国駐屯地が開設され正に日本防衛の最前線でもあります。

駐屯地は島の西岸の高台にありちょうど中国大陆方向を監視できる好位置にレーダーサイトも配置しておりました。駐屯地医務官が知人であったので駐屯地内も案内して頂きましたが体育館は島民との共同使用となっており現在グラウンドも造成中とのことでした。また医療面では島には診療所が1ヶ所しかなく琉球大学からの派遣医師と研修医の2名体制で島民約1,700名の医療支援を行っている状況でした。それに診療所には歯科が無く約127km離れた石垣島が那覇へ飛行機で

渡り受診するという不便さです。もちろん隊員・家族も例外ではなく駐屯地医務室では1次的健康診断設備は有するものの精密検査や処置できない疾病については自費で同じく石垣島、那覇で行き受診するほかなくドラマで描かれた「Drコトー診療所」そのものの印象でした。しかし島には与那国馬がのんびり

道を歩いている豊かな自然があり私も乗馬やダイビングを堪能いたしました。8月～9月は観光客も少なく穴場のスポットです。皆さまもぜひ一度は訪ねてみてください。

そのものの印象でした。しかし島には与那国馬がのんびり

道を歩いている豊かな自然があり私も乗馬やダイビングを堪能いたしました。8月～9月は観光客も少なく穴場のスポットです。皆さまもぜひ一度は訪ねてみてください。



和田 拝



【市川市戦没者慰霊祭】



10月17日(水)にて市川市戦没者追悼式が挙行されました。遺族の方々、県議、市長、市議が参加し、支部からは金井支部長、永井前支部長が出席しました。

【下総基地創立49周年記念行事】



参加された検討の隊友会役員



金井支部長が参加をしました。快晴に恵まれ、式典、飛行展示、懇親会等有意義な時間を過ごすことができました。

【家族会隊友会共催お楽しみ会】

9月24日「行徳町散歩」をテーマに行徳の歴史さんぽに6名が参加をしました。市川歴史ガイドさんにより行徳の歴史、埋め立てと塩田、徳川の天領となり保護されたこと、寺町、神輿の町などのお話を聞きました。



行徳寺町通りと内匠堀の交差点東北に海蔵山徳願寺は美しい松に彩られ、徳川將軍家と剣豪宮本武蔵ゆかりの歴史ある名刹。徳川家康が帰依し、秀

忠から本尊の運慶作阿弥陀如来像を、家光より朱印を与えられ、宮本武蔵ゆかりの寺院としても知られています。徳願寺の山門(仁王門)、経蔵、鐘楼堂は江戸時代末期から明治中期の建築物であり、市川市指定の有形文化財です。江戸時代には、十夜や二十夜、相撲興業等に多くの参拝客

でにぎわったと伝えられています。また、海蔵山徳願寺は、行徳・浦安33カ所観音札所巡りの第一番札所でもあります。



旅立ちの法然像



常夜灯公園の灯籠
常夜灯のある新河岸跡はかつて江戸から船で到着し成田山詣の起点として賑わいました。今では常夜灯公園となり往時をしのばせています。



笹屋うどん家跡



旧浅子神輿店案内



神輿の町行徳として有名ですが明治以降に製作された全国の江戸神輿は4千基ほどといわれ、行徳の神輿屋「浅子周慶」「後藤直光」製の神輿を合算すると二千基ほどになる。富岡八幡宮・寒川神社・亀戸天神社など大型神輿が全国に数々奉納されたそうです。

両店は、後継者がなくなり平成になり最近廃業され、現在は「中台製作所」1店のみとなってしまいました。

今回は旧浅子神輿店を訪問し子孫の鈴木さんのお話を聞きました。かつては、この地で神輿を製作・修理し、江戸川沿いの「行徳河岸」から、新川～小名木川～隅田川コースで船で運ばれ、江戸・全国に運ばれていたそうです。神輿職人多数の他に木地師・彫りもの師・塗り師・飾り師・メッキ屋・建具師・大工職が活躍したそうです。

今後のイベント

- 11月24日(土)お楽しみ会「寄席体験」池袋演芸場
- 12月18日(火)近現代史「名惜塾」金井支部長講師
(江東区産業会館 18:30)
- 1月27日(日)家族会・隊友会新年会
会員の皆様からの投稿をお待ちします。